

ひきこもり家族自助会とやま大地の会(設立 2001 年 3 月)

振込先 北陸労働金庫 富山南支店 普通 3414428 とやま大地の会

♪ ♪ 例会のおしらせ ♪ ♪



例会は、ミニ講演や

グループでの分かち合いの場です。また個別相談会(希望者)も行っています。

新型コロナ対策のため、実施について変更可能性もありますので、ご参加を希望される方は、
本会のホームページでの確認をお願いします。

10月16日(第3土曜日)	第248回例会	13:30	富山市安住町サンシップとやま 601号室
11月20日(第3土曜日)	第249回例会	13:30	富山市安住町サンシップとやま 703号室
12月18日(第3土曜日)	第250回例会	13:30	富山市安住町サンシップとやま 701号室
01月15日(第3土曜日)	第251回例会	13:30	富山市安住町サンシップとやま 701号室

会費 正会員の2021年度からの年会費は2,000円。例会参加費無料。(振込料は各自負担です。)

非会員の方の、2021年度からの例会参加費200円です。

サンシップでは駐車券を2階事務所にし、「大地の会」とおっしゃってください。無料になります。

サンフォルテでは駐車券を1階受付にし、「大地の会」とおっしゃってください。1時間無料になります。

◎富山県ひきこもり地域支援センター、最寄りの厚生センター、保健所で相談をしましょう。適切な支援に繋がるよう力を借ります。

◎支援センターに希望すること、親に出来ることを常時募集しています。

◎ご相談があれば、ご遠慮なく、事務局の携帯(090-3768-1733)にお電話ください。すぐに出られない場合もありますが、受信履歴を見て、こちらからおかけします。悩みを分かち合い、心の負担を軽くしましょう。

非通知のお電話はご遠慮下さい。

「とやま大地の会」のホームページですが、下記 URL で開設しています。ご覧ください。

<http://toyamadaichinokai.com/>



♪ 9月例会報告 ♪

日 時 : 9月18(土) 13:30~15:40 サンシップとやま 501号室

参加者 : 20名(男性9名{内体験者2名}、女性11名)のご参加がありました。

I 連絡事項

1 コロナ禍の中でご参加について

コロナ禍で制限がかかる中でも、たくさんの方にご参加いただきありがとうございます。皆様のご参加を大切にしたい。昨日、所用で富山保健所に出向きました。8月からかなりのスタッフの方々が徹夜状態で勤務され、多忙な状態が続いているようでしたが丁寧に応対していただきました。感謝したいと思います。

今日は、障害者就労支援施設 ワークハウス 剣(上市町)で作られたお菓子「ゆきんこ」をお配りいたしました。美味しいお菓子を一緒にいただき、ほっこりした気持ちになりながら進めたいと思います。

2 個別相談の実施について

ひきこもり関連で困りごとを抱えている方に、会の役員が個別に相談に乗ります。例会終了後などに相談会を予定いたしますので、気軽にご参加下さい。

3 「自殺予防週間」広報用ポスターについて

正面にポスターを掲示いたしました。県の健康課からいただきました。自殺予防活動は、

『違和感に気づいたらこえをかけてみる。心配する気持ちをただ伝える。それが、いのちを支える「ゲートキーパー」にはじめてできること。』であります。ご協力、よろしくお願いたします。

II 『8050を控えた準備（仮題）』書作成について

（担当 米谷）

（先月、7月のミニ講演「松の木プロジェクト」に込めた親の思いを参考に話し合いを始めました。前回標題は、『本人の今後への生活アドバイス（仮題）』でしたが、今回から上記に変更いたします。）

1 資料の説明

(1) 本人への伝達（**網掛け箇所**…ひきこもり支援面で具体化したい事項）

・日常生活

衣 食 住 費用 **体調不良時（病院・家庭薬）** 故障時 **災害（情報・避難）**

・地域

自治会 行事 日々 神社

・親戚

・資産

土地 家屋 **金銭（日常生活自立支援事業など）**

・両親が病気で意思疎通が図れなくなった場合

(2) 親自身、体が動くうちに行っておきたいこと

不用品の整理、手間の軽減化、家財の長寿命化



2 全体での話し合い

- ・夫婦での準備は難しく、本人とはさらに難しいと思います。
- ・本人とは、“親戚づきあい”について話し合いたいと思います。
- ・姪っ子は近所の付き合いが出来ません。今後どうやって取り組んで行けば良いか悩みます。
- ・**（体験者）我が家を考えて時、重たい話です。“両親が病気で…”**について、その時はどう対応すれば良いのか今から心配です。今の内から**両親から伝達を受けた方が**良いかも。
- ・災害はいつ起こるか分かりません。その時、どうすべきか？SOSは？自分もいつ何時どうなるか？など、会話は出来なくてもメモ書きして伝達をすることが必要です。
- ・自分は準備が出来ているのか？ 災害に備え常に言い続け考える良い機会だと思います。
- ・“家族・親戚”が少なく、子には何でも話せる信頼出来る人が必要。何とかしてやりたい。
- ・それぞれの家族に合わせ、ゆっくりと考えて行けば良いと思います・
- ・親の年金で暮らしています。親亡き後、子はどう暮らしていくのか心配がありますが、子は最近元気になって来ました。
- ・大事な事ですが難しいことばかりです。自分で生きていく力をどう引き出していくか？公的支援手続きが出来るか心配です。信頼を寄せて相談出来る場所が見つかり、子が力をつけてくれればと思っています。
- ・子は家にいます。ちょっとした買い物はします。家の中は安定しています。8050は新聞で知っています。子が外との関わりを持たせたらとか、生活費のことを考えています。
- ・**（体験者）** 当件は**すごく大事なこと**だと思います。準備に親が**100%やってくれていたら、自分は最初の方は快適かもしれませんが、その後どうやって良いか分からなくなる**と思います。準備は親と子が話し合いながら半々に一緒にやったら良いのではと思います。
- ・姪っ子が不登校です。叔母の私は、その子の役に立てることを勉強したくて参加しました。

III いつもの話し合い 近況や報告など全体で話し合いました。

- ・ひきこもっていたときは、親亡き後(8050問題)について考える余裕はなかった。2週間前に2回目のコロナウイルスワクチンをうってきたが、熱が出て大変だった。ひきこもっていたときに受けに行けたかと思えると難しかったと思う。
- ・性的マイノリティで、家でも学校でもなかなか話せず、孤立しがちな人たちが集まることのできる交流会を年に4回開いている。また、LGBTQの理解促進に努めている。
- ・始めは暗い表情で交流会に参加していた人も、何回か参加するにつれて周りに心を開くようになったということもあった。
- ・苦しんでいるのはうちだけじゃない、いろんなことを抱えている家庭がたくさんあるということを伝えた。

- ・コロナウイルスのワクチンを子どもに受けさせなきゃと思っていたが、他の人の話を聞いていると受けない人もいて、うちだけじゃないと思った。また、娘が出産で里帰りをしていた時、ひきこもっている息子が宅配を受け取ってくれて、家族の役に立ちたいという思いがあった。
- ・8050 問題真ただ中である。コロナ禍ということもあり動きが鈍くなっているが、何とか前向きに考えていきたい。
- ・無理にコロナウイルスのワクチンを受けに行かせるということはせずに、本人の状況に合わせて決めていけばいいと思う。
- ・ワクチンを打てない事情がある人への理解を促進しなければと思う。また、何においても声をあげることは私たちの生活を豊かにすると思う。
- ・初参加。コロナ禍の拡大により、ひきこもる姪っ子の状況がさらに悪化した。すごくショックだが、いろいろな話を聞いたり勉強したりして、今後どうしていくべきか考えたい。
- ・初参加。子どもの立場の話を知りたいと思い参加した。時が来たら、娘の背中を押したいと思う。今の時代は、働かないということがおかしいとされる時代で生きづらいなと思う。
- ・初参加。息子がひきこもっていて、休学中。復学予定であるが、本当に大丈夫なのか不安。また、本人に寄り添ってくれる第三者を探している。
- ・初参加。長男がひきこもっていて、父親とは話すが自分とは話してくれない状態。ドライブに誘ってついてきてくれたらなと思う。
- ・ひきこもり状態になって長い。日々の暮らしに一生懸命で、先のことは考えられない。毎日平穩に暮らせたらと思う。また、ワクチンを絶対に打ちたくないと述べていた息子が急に打つと言いはじめた。
- ・8050 問題が身近に迫っている。息子は 20 年以上ひきこもって、両親を拒否しているが、それでも生きていてくれる。今できることを考えて子どもを助けていきたい。
- ・電話相談を担当していて、話を聞いていると、性の話を聞くこともある。また、ひきこもっている娘がオンラインではあるが、人とのつながりを得ていた。
- ・県内で市議会議員をしている。市民の声を形にしていきたいと考えている。先は長いであろうが、いい形にできるようにしていきたい。
- ・県外の出身です。専門職として働いていますが、不登校・ひきこもりの元経験者でもある。本県の県民性からか、生きづらさを感じたり、一人一人の中にある差別意識の根強さを感じたりすることもある。

IV その他

- 1 例会ではなかなか十分に自分の話が出来ない。言い足りないことなど。日常のあゆみなど体験発表をしてみませんか？約 20 分間程度を予定しています。
- 2 投稿欄について
会員の皆さまから、“ひきこもりの理解”に関する本の紹介や講演の感想等、募集しています。投稿される方は、後日、読まれた方から問い合わせ等がある場合がありますので、できればお名前をお書き下さい。

富山県ひきこもり地域支援センター からのお知らせ

相談時間：月曜日～金曜日 8:30～12:00、13:00～17:00（要予約）

グループ相談を実施しています。

- ・本人グループ 毎週火曜日 10:00～12:00
- ・親グループ 毎月第 2 木曜日 14:00～16:00

まずはお電話でご相談ください。電話：076-428-0616

場所：富山県心の健康センター内 〒939-8222 富山市蜷川 459-1

V つくしの会より(2003 年設立)

高岡市内 2 カ所で、今はコロナ禍中のため、感染予防を徹底の上、話し合い中心の例会を行っています。

1、例会の予定

■月例会：第2日曜日…10月10日、11月14日。午後1：30～博労公民館にて

■おとぎの森定例会：第1土曜日と水曜日。…10月2日(土)、6日(水)、13日(水)、20日(水)、27日(水)。11月6日(土)、10日(水)、17日(水)、24日(水)。午後2：00～、おとぎの森のふれあい館にて。

■研修等…高岡市福祉連携推進室と研修、懇談会(月例会に)は、未定。

※コロナ感染状況によって、変更になる場合があるかもしれませんが、ご了承下さい。

2、つくしの会へのお問い合わせ

☎090-3768-1733(大地の会)からつくしの会へ連絡、または☎090-4684-5071(宮川)まで

VI 書籍・論文の紹介 『ひきこもる 子ども・若者の 思いと支援 自分を生きるために』

春日井敏之・櫻谷眞理子・竹中哲夫・藤本文朗 編 三学出版 2016



本書は、第1部「不登校・ひきこもりを経験した若者たちの思い」、第2部「さまざまな支援ネットワークの取り組み」、第3部「ひきこもり支援の方法を考える」からなり、ひきこもる人(不登校の人を含む)の思いや生活、親・家族の思い、およびそれらに影響する社会的・歴史的背景などを全体として関連づけて理解し、支援のあり方について検討しようとしています。「まえがき」より

特に、第1部は、6人の方が、それぞれ10p～20pに、ご自身のひきこもり経験と現在の思いを記述しています。紹介させていただくにあたり、再読しましたが新たな感動と学びがありました。

(やまおか)